

公益委員



井上 毅(会長)

現 職: 弁護士

抱 負: 公益委員に就任して、社会の中の「生きた法」である労働法を改めて勉強し直しています。労使の意見に真摯に耳を傾け、紛争解決というゴールをアシストする「良いパス」を出せるように日々精進してまいります。



川村 一司(会長代理)

現 職: 弁護士

抱 負: 健全な労使関係は、常にそれを維持発展させる努力によるものです。また、昨今の環境の激変に伴い、改めてそのような努力の重要性が増してきております。そのような中で、労働委員会の使命を自覚し、健全な労使関係発展のために努めて参りたいと思います。



清水 泰幸

現 職: 福井大学教育学部准教授

抱 負: 普段は福井大学で法律学の講義などを担当しています。「労働法は最も守られない法律のひとつ」という不名誉な表現がありますが、労働法を遵守することは労働者にも使用者にも大切なことです。責任の重さを自覚し公正中立に職務にあたる所存です。



小池 麻里子

現 職: 弁護士

抱 負: 公益委員、使用者委員、労働者委員、三者が異なる視座をもち、解決に向けてアイデアを出し合うことができるのが労働委員会の大きな特色です。労働法制の改革が目まぐるしい昨今ですが、公益委員として一翼を担えるよう、努めて参ります。



竹内 順子

現 職: 司法書士

抱 負: 社会が多様化、複雑化する昨今、様々な労働トラブルがあります。労働者、使用者の立場や意見を理解し、時には寄り添い、双方が納得のいく解決方法を模索し、紛争解決のお手伝いが少しでもできるように努めたいと思います。

労働者委員



矢野 義和

現 職:日本労働組合総連合会福井県連合会(連合福井)会長
抱 負:公平な立場で双方よりしっかりと話を聞き、県民からの相談や労使間によるトラブルを早期に解決できるよう、力一杯頑張ります。また、この職務を通じ、働くことの意義を伝えるとともに、労働環境の整備に努めます。



林 憲治

現 職:UAゼンセン 福井県支部 支部長
抱 負:労働基準法の施行から77年。労働関係法は新たな法の施行や改正が繰り返され、環境整備が進められました。しかし、不適切な運用による労使間のトラブルは絶えません。適正な運用を周知し、誰もが安心して働ける職場が実現するよう、精一杯努めさせていただきます。



橋岡 克典

現 職:日本労働組合総連合会福井県連合会(連合福井)事務局長
抱 負:近年、新たな労働政策や環境等に伴う雇用形態の多様化などによって、労使紛争の事案が増加し複雑化しています。労働委員会委員としてさらに見識を深め、健全な労使関係の構築に向け、公平・公正な立場で労使間トラブルの解決にあたっていきます。



米谷 寿光

現 職:アイシン福井労働組合 執行委員長
抱 負:労働者の目線を忘れることなく、労使双方にとって中立の立場で労働関係の公正な調整を図りたいと思います。また、職場や労働者に多様性が求められる中、新しい価値観や課題、労使間のトラブルに対し真摯に向き合い解決に向けて精一杯取り組みます。



角田 智子

現 職:日本郵政グループ労働組合 北陸地方本部書記長
抱 負:社会の変化や、労働環境・雇用形態の多様化により、労使紛争の事案も多様化しています。新しい価値観や働き方に労働者の立場から真摯に向き合い、公平公正な立場から労使間のトラブルの解決に向けて精一杯努力して参ります。

使用者委員



田村 毅

現 職:敦賀海陸運輸株式会社 専務取締役

抱 負:労働委員会は、他の相談窓口には類のない「公益・労働者・使用者各委員」の三者構成で、労働問題の解決にあたっております。私も、使用者委員の一員として、会社での業務経験を活かし、労働問題解決に少しでもお役に立てばと考えております。



清水 則明

現 職:ラニイ福井貨物株式会社 取締役会長

抱 負:「使用者」と「労働者」、相反するようでも実は持ちつ持たれつの間柄。本来、どちらかが上位でも強いわけではありません。そのバランスが崩れてしまったとき、丁度シーソーを平らにするように調整するのが私たちの役割だと考えています。



中村 直樹

現 職:アイテック株式会社 顧問

抱 負:この度、労働委員会委員を務めることになりました。近年、働き方改革、企業を取り巻く環境変化の激変等により、労使関係の課題、問題も変化しています。労働委員会委員として、労使双方がWIN=WINの関係を築けるように、取り組んでまいります。



山埜 浩嗣

現 職:福井県経営者協会 専務理事

抱 負:両親から残された畑の雑草対策として家庭菜園をしております。土づくりから始まり、鳥や害虫対策など、十分な手間を掛けないと思い通りの収穫は望めません。労使の仲人役として努力を惜しまず、良い結果が得られるようお手伝いしたいと思います。



久保田 百代

現 職:久保田電機株式会社 代表取締役社長

抱 負:労働委員会の一員として、公正な判断と円滑な労使関係の構築に貢献したいと思います。そのために労働者委員や公益委員と協力し、対話を大切に人の思いや状況を理解することに努め、公平かつ中立的な立場で円満な調整と解決に尽力してまいります。